

整備効果

高速利便性の向上

高速道路へのアクセス性の向上

東静岡エリアでの IC 空白地域が解消し、高速道路を利用しやすくなります。高速道路 IC 5km 圏内の人口が、静岡市では 81%→97% に拡大します。

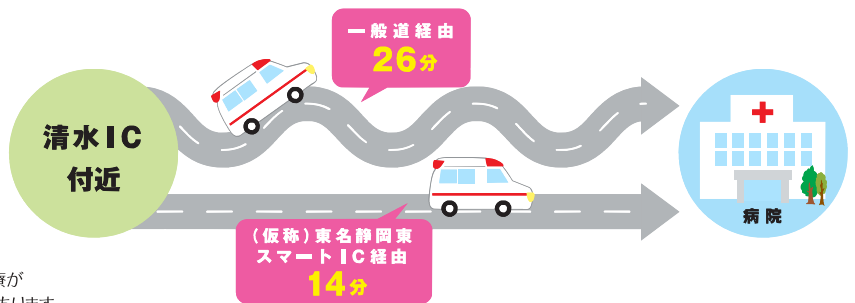


安全・安心な地域づくり

医療施設への搬送時間の短縮

静岡市東部から静岡済生会総合病院(第3次医療施設※)への救急患者の搬送に高速道路が利用できるので、搬送時間の短縮が可能になります。

※第3次医療施設とは、重篤な救急患者に対し高度な治療が可能な施設であり、市内では他に「静岡赤十字病院」があります。



災害時の活動の支援

IC周辺からの、被災地への広域の救助・救急活動や災害復旧活動をはじめ、市内各所の避難所への救護用物資(食料、衣服、寝具等の生活必需品)の配布などへの活用が期待できます。



災害時の復旧支援ルート確保・防災拠点へのアクセス向上

災害時に国道 150 号から三保地区周辺への復旧支援ルートとして活用できます。また、災害で東名高速道路、新東名高速道路のいずれかが通行できなくなった場合にも、(仮称) 東名静岡東スマート IC、新静岡 IC を利用して路線の選択が可能となり、東名高速道路⇔新東名高速道路のダブルネットワークの効果が期待できます。

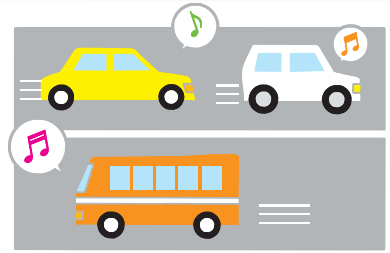


整備効果

交通環境の改善

静岡IC周辺道路の混雑緩和

(仮称) 東名静岡東スマート IC と静岡 IC とで交通を分担することにより、静岡 IC とそのアクセス道路である(主) 中島安倍線の交通量が減少し、渋滞が緩和します。



生活環境の改善

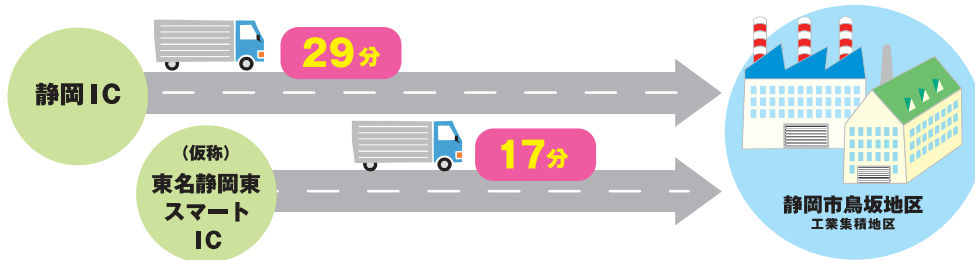
静岡市内の渋滞損失時間が 29 万人時間 / 年 減少します。
また、CO2 は 3.7 千トン / 年削減され、交通環境や地球環境の改善が図られます。



地域の活性化、経済効果

工業集積地区への高速利便性向上に伴う産業の活性化

首都圏や中部・近畿へのアクセス性が向上し、企業活動の効率化が期待されます。



世界遺産 三保松原や日本平などの観光産業への支援効果

世界遺産に登録された三保松原や日本平動物園、久能山東照宮などの観光地が IC に近くなることで、観光地への来訪回数が増えます。

また、滞在時間が長くなったり、他の観光施設へ立ち寄るなどの効果も期待できます。

